虚礼改善運動高まる

病気見舞の返礼はハガキで

葬式のお明しはお金で

今、全村で生活改善に対する意欲がもり上っています。広報五月号に掲載した「たんぽぽ」の記事が機縁となって婦人会が中心となって運動が進められています。最近、消費文明のあおりを受けて、日常生活が向上していく中で、特に冠婚葬祭等の諸行事が華美に流れ、物価の上昇と相俟って、漸次エスカレートしていく傾向が強くなってきました。このような傾向を阻止するために小さなことからでもみんなでできることを改善していこうとする運動です。

「病気見舞の返礼は、はがきでしょう。」「葬式のお明しはやめてお金であげることにしょう。」

この二つのことを取あえず実行していこうと四十八年度村連合婦人会総会で決議され続いて村単位婦人会長会議で実施方法についての審議がなされました。それで村内各地区毎に嘱託員、公民館分館、青年団、それに婦人会が合同して相談され、早速実施していこうということになり、沢海、横越、木津では既に地域運動として実施していくことがきめられ、パンフレット等で地域住民に呼びかけ実施の段階にはいっています。前記以外の地区でも遠からずこのような申合せがなされ、実行されていくことになるでしょう。

生活改善については従前から住民運動として進められ、特に結婚式などについても公民館結婚で、簡素で厳粛に、会費制で、式は平服で等をたてまえとして約十年間にわたって実施され、特に新しい公民館が完成されてから利用される方々が多くなってきました。時勢の推移と生活改善についての趣旨が、村民の方々に理解されてきたものでしょう。

この外にも私どもの生活の中に改善し、廃止していくことが適当なことがらがまだまだあるでしょう。物よりも気持ちを大切にしていく、お互いの身になって地域の共同生活を進めていく体勢がこういう時勢には特に必要なことでしょう。

ようこそ

中国友好使節団

北方博物館を訪れる

日中の交流と友好を深めるため、四月中旬から訪日中の中日友好使節団の楚図南副団長以下十一名が、さる五月六日、沢海の北方博物館を訪れました。

使節団一行を歓迎するため村の三役、議会議長をはじめ地元の皆さん大勢が集り、万雷の拍手で暖かく出迎えました。神田村長から「ようこそ横越村」へと歓迎のあいさつがあって、関係者交互に堅い握手を交し和やかに熱烈歓迎をしました。

一行は、約四十分にわたって館内の展示品、庭園、三楽亭等の説明を受けながら熱心に見物し、帰りには、見送りの皆さんと記念写真をとったりして、和やかに次の訪問地村松へ向いました。

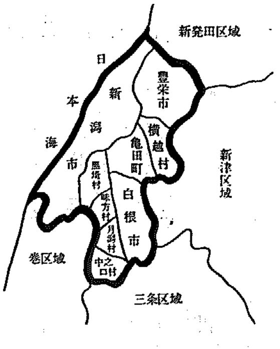
村長らと握手する使節団

6月20日から

☎ 料金が変わります

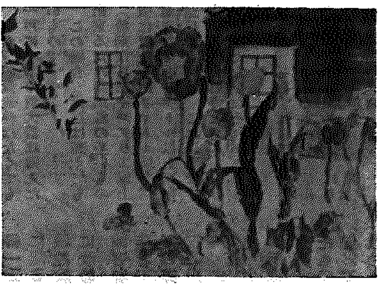
最低料金（3分7円ごと）で通話できる区域が下図太線の範囲に拡大されました。従って、横越村から亀田、新潟、豊栄、白根、黒埼、味方、中之口、月潟の各市町村への通話は、80秒7円であったものが3分ごとに7円となり、たいへん安くなりました。

隣り合っている区域、横越村から三条、新津、新発田、巻区域の通話は60秒7円からすべて80秒7円となります。



亀田局の市外局番が8月下旬に〝0253〟に変更される予定です。
また、市内局番も82局が新設される予定。

こどもサロン

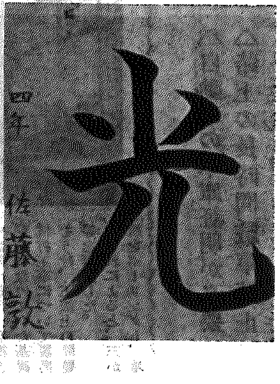


春のけしき
（横越小学校三年　神田直子さん）

＜評＞

校庭の春を探して画いたものです。三年生の絵としてはまだ完全に仕上がっていませんが、チューリップの形、色を細かく見ています。明るく、やわらかな感じがよく出ていると思います。

（横越小　神田昌子先生）



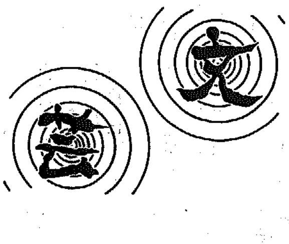
（横越小学校四年　佐藤　[illegible]）

＜評＞

四月教材（二時間配当）として学習したものです。「点画の方向に注意して整った字形がとれる。」ことをねらいとしました。横画のとめ、最終画の曲がりとはねなど、部分的に十分とはいえないところもあります。

しかし、始筆の打ちこみや、この学習のねらいである点画の方向への注意は合格です。男の子らしい筆勢でのびやかな文字です。

（横越小　渡辺　保先生）



沢海　星　順司

いくさの日忘れしとにはあらねども
　忘れしごとく熱き湯に入る

貨車にして北鮮すぐるきさらぎの
　凍てしりんごの味を忘れず

臨終をみとり帰るに春の夜の
　かかわりのなき月出でにけり

「県民スポーツの日」行事
6月17日に開催

「県民スポーツの日」の行事を次のように実施いたしますので家族そろって多数ご参加、ご声援をお願いします。

期日　6月17日（日）
会場　横小体育館　横中体育館外
種目　(1)[illegible]マラソン
　　　(2)バドミントン
　　　(3)柔道、剣道、銃剣道
　　　(4)村内一周サイクリング

申込み　6月10日まで公民館へどうぞ。

新刊図書紹介

○スパイ王者　山中峯太郎
○怪盗の宝　〃
○幽霊屋敷の怪　〃
○王冠の謎　〃
○土人の毒矢　〃
○閃光暗号　〃
○悪魔の足　〃
○鍵と地下鉄　〃
○消えた蝋面　〃
○黒い魔船　〃
○黒蛇紳士　〃
○火の地獄船　〃
○踊る人形　〃
○謎の手品師　〃
○恐怖の谷　〃
○うまおいどり　梶山俊夫
○鬼　今江祥智
○あかっぴょろ　筒井敬介
○みかづきとたぬき　椋　鳩十
○小さなトムトム　山中　恒

公民館では、親と子の読書を普及するために、図書予算を増額し、幼児向けの図書を沢山とりそろえましたので、ご利用ください。

トップ写真の説明

下木津一番の鎮守で、天正年間（一五七〇年頃）に同部落を開発した石井隼人佐が勧請により、別雷神、天照皇大神宮を祭神として創立されたと伝えられる（由緒は洪水で流失とか）。この境内に、新潟県指定の文化財「天然記念物・大欅」で、樹令は、七百年と推定される赤欅で根まわり10米。木の高さ25米。枝の広がりは東西に25米、南北23米地上約3米の処で東西に分れている。東側の幹の一部にこぶ穴があり、そこにたまった水が昔から眼病の薬水との伝えもあり、住民の信仰を集めてきた。

またこの木と並び、同じ樹齢の青欅があったが、昭和36年9月の「第二室戸台風」の被害で倒木して現存しないのは惜しまれる。